



2016年11月4日

各 位

会社名:株式会社夢真ホールディングス
(コード:2362 JASDAQ)
代表者:代表取締役社長 佐藤大央
問合せ:執行役員管理本部長 片野裕之
(TEL:03-3210-1212)

中期経営計画(2017年9月期～2019年9月期)策定に関するお知らせ

当社は、最近の外部環境および業績動向をふまえ、新たに中期経営計画(2017年9月期～2019年9月期)を策定いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画の概要

(1) 基本方針

～「建築技術者派遣」および「エンジニア派遣」事業を成長ドライバーに～

日本経済において、「人手不足」は大きな課題となっております。特に多くの技術者および技能者を要する建設業界や、専門的な知識を有した人材を求める製造・IT業界では、ビジネスの特性上、人手不足は逼迫した状態となっております。

当社は、主力事業である建築技術者派遣事業に加えて、エンジニア派遣事業においても、積極的な人材採用に取り組むことで、建設業界、製造・IT業界における旺盛な人材派遣ニーズに対応し、業容拡大を目指してまいります。

建築技術者派遣事業においては、年間採用人数2,000人を継続させることにより技術者数5,000人体制の構築を目指し、圧倒的な業界No.1企業へと成長してまいります。

エンジニア派遣事業においても、積極的な採用活動をスタートさせ、エンジニア数2,000人体制を構築することにより、業界中堅グループから一步抜け出す規模への成長を目指します。これまで培った大量採用ノウハウ、そして改善傾向にある定着率の安定化に向けた取り組みを継続していくことにより、それぞれの人員計画達成を目指してまいります。

さらに、2016年5月に設立した子会社「株式会社夢エデュケーション」では、フィンテック、拡張現実(AR)、バーチャルリアリティ(VR)、Internet of Things(IoT)、人工知能(AI)などに代表されるハイクラスなITエンジニアの育成を進めてまいります。このような高度な技術を有したエンジニアは2020年には日本国内だけで40万人不足するといわれており、当社グループは人材の採用および育成ならびに先端的技術を持ったIT企業との業務提携などにスピード感を持って積極的に取り組んでまいります。

(2) 株主還元政策

- ① 2017年9月期まで目標配当性向100%とし、その後も事業の成長に連動した高配当方針とします。
- ② 1株あたり純利益(EPS)の向上を意識した経営を進めます。
- ③ 下記2つの理由から東証1部への市場変更を目指します。
 - i. 事業⇒採用力の強化および定着率の改善のため
 - ii. 株式⇒流動性の向上および株主層の拡大のため

2. 経営数値計画

(1) 連結 業績計画

(百万円)

	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期
売上高	30,800	36,000 ~40,000	43,000 ~50,000
営業利益	3,600	5,000 ~6,000	6,500 ~8,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,100	3,000 ~3,500	4,000 ~5,000

【2018年9月期および2019年9月期の計画値におけるレンジ開示の理由】

下限につきましては、主要事業である建築技術者派遣およびエンジニア派遣事業をはじめとした既存事業における計画値であり、レンジ部分におきましては、「1. 中期経営計画の概要」の「(1) 基本方針」記載の新事業である、ITエンジニア育成事業の今後の成長可能性を含めた数値となります。

(2) セグメント別 業績計画

① 建築技術者派遣事業

	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期
売上高	22,700	27,000	31,000
営業利益	3,300	4,600	5,900
年間採用人数	2,000人	2,000人	2,000人
期末技術者数	3,960人	4,580人	5,200人

② エンジニア派遣事業

	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期
売上高	7,200	9,200	11,590
営業利益	600	750	1,000
年間採用人数	675人	900人	1,200人
期末技術者数	1,530人	1,980人	2,580人

以上